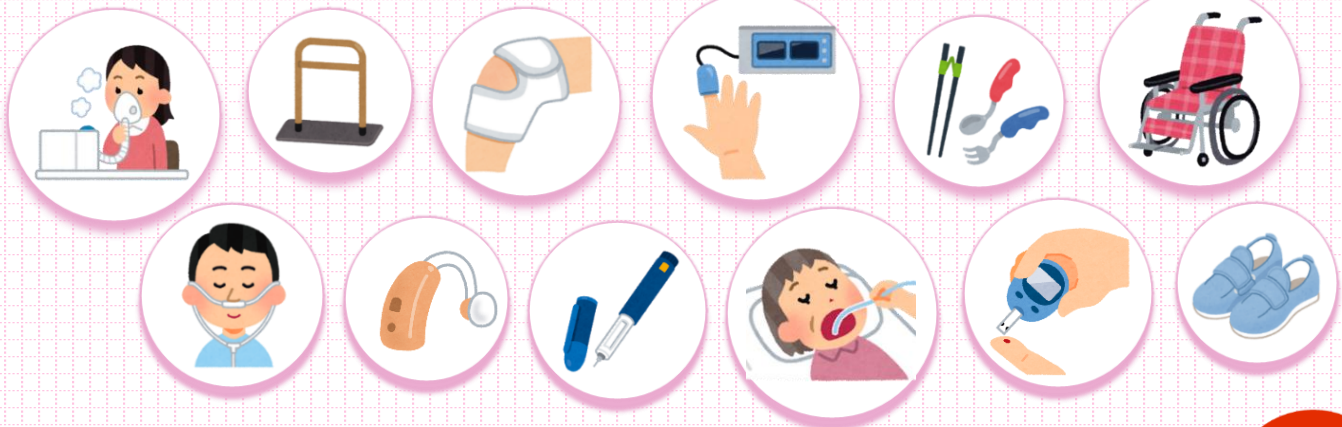


在宅医療・介護の困った💧を解決する アイデアを形にしてみませんか？

入院の短期化などにより、自宅での療養や看護、介護が増えています。



狭い家や部屋では使いづらかったり、機械に弱い人や子供には操作が難しかったり、かっこよくない、かわいくないデザインだったりするものはありませんか？

**参加
無料**

日時：平成30年 **12月9日(日)** 14:00~16:30

場所：イオンモール松本 風庭2階 イオンホール (13:30受付開始)
(長野県松本市中央4丁目9番51号)

講師：一般社団法人日本次世代型先進高齢社会研究機構 代表理事
株式会社MTヘルスケアデザイン研究所 所長



阿久津 靖子 氏

在宅医療・介護の「困った」を住民の皆さんのアイデアと、松本地域の企業のものづくりの力で解決する **“住民参加型の医工連携ものづくり”** をはじめました。皆さんの「困った」やアイデアが、患者さんやその家族に使いやすく、カッコよくて、みんなが元気になれる 松本発のもの&デザインを作るワークショップを実施します。

**サポーター
募集中**



ご参加の皆様と、当日、在宅医療・介護の「困った」の募集にご協力いただいた皆様には「ものづくりサポーターバッジ」をお配りします。

【お問合せ先】

信州メディカル産業振興会事務局
信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 URA室
TEL: 0263-37-3421 FAX: 0263-37-3425
mail: smia@shinshu-u.ac.jp

イオンモール松本・フロアマップ

2階



在宅医療・介護の困った💧を解決する アイデアを形にしてみませんか？

平成30年12月9日(日)

時間：14:00～16:30

場所：イオンモール松本 イオンホール

皆さんから情報を提供していただいた「困った」について考えます。

今回のテーマは・・・

「楽しく食べる」



「食べることに困った」

- ・お箸やフォークをうまく使えない。
- ・お水やお茶がうまく飲めない。
- ・お茶碗やお皿をうまく持てない。
- ・柔らかくしないと食べられない。
- ・上手に食べられないので外食したくない。
- ・不自由な人向けの道具を使うのが恥ずかしい。



「食べる」ことに色々な問題を抱えている人が、家の中でも、外でも、笑顔で楽しく食べられる「道具」を皆さんと一緒に考えます！

小学校高学年以上でしたらどなたでもご参加いただけます。

実際に困っている人、家族が困っている人なども是非ご参加ください。

皆さんの「困った💧」を募集中！

※ 食べること以外にも、在宅医療・介護での「困った」を広く募集しています！

「困った」のご連絡は下記フォーム以外の自由書式でも大丈夫です。ただし、個人的な情報は記載しないでください。

下記送付先にお送りいただくか、12/9(日)12:00～16:30にイオンホール(イベント会場)までお持ちください。

困っている人	例：おばあちゃん、自分
困っていること 困っているもの	・在宅での療養・看護・介護などで患者さんや家族が困っていること ・自宅で使っている医療・介護に関する道具や機械で困っているもの など
発見者(仮名)・年齢	例：おじいちゃん子・28歳

【お問合せ先・「困った」の送付先】

信州メディカル産業振興会事務局 (信州大学 学術研究・産学官連携推進機構URA室内)

TEL: 0263-37-3421 FAX: 0263-37-3425 mail: smia@shinshu-u.ac.jp